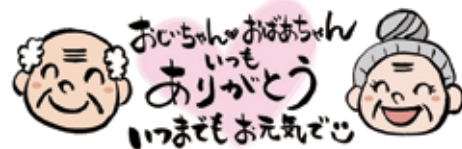


77歳、88歳、100歳以上を 迎える皆様に敬老記念品を贈呈します



これまで本市では、88歳や100歳以上を迎えられた方々に、感謝と長寿のお祝いの意を表し、記念品をお贈りしてきました。

本年度は、より多くの皆様に喜んでいただけるよう、新たに77歳(喜寿)を迎える方々にも記念品を贈呈いたします。記念品は選ぶ楽しみのあるカタログギフトをご用意し、対象の皆様のご自宅等へ配送いたします。

○対象者

【77歳】 昭和23年4月1日～昭和24年3月31日の間に生まれた方

【88歳】 昭和12年4月1日～昭和13年3月31日の間に生まれた方

【100歳以上】 大正15年3月31日以前に生まれた方

○配送期日(予定) 9月中旬

※配送状況等により、配達に遅れが生じる場合があります。

【お問合せ】 高齢福祉課 ☎63-1111 内線119

まちづくり・潮来の自然と歴史を知る



(写真1) 釣れたアメリカナマズ



(写真2) 北浦沖での調査風景



(写真3) 北浦の岸近くでの調査



(写真4) 投網で採れたマハゼ

潮来市の誇れる自然 北浦での大学生向け野外実習が大盛況！

第91回

茨城大学の臨湖実験施設である水圏環境フィールドステーション(潮来市大生は、全国の大学生が湖沼環境・生態系について学べる教育拠点(文部科学省認定)です。夏休みには各地の大学生が霞ヶ浦でのフィールドワークを体験したくて来てくれます。

8月19～23日の公開実習「巨大湖の生態系と環境問題―霞ヶ浦での調査・実験から理解する―」には、山形大・北里大・茨城大・慶應義塾大・青山学院大・近畿大・高知大・長崎大の学生たち9名が参加しました。この実習の教材は霞ヶ浦・北浦の水環境、生物多様性、生態系、地形・地質などです。

1日目は霞ヶ浦・北浦の水環境問題やその歴史の変遷、最近の外來種問題などを座学で学んでから、アメリカナマズの駆除釣りを実施。1時間で50cm以上の大物(写真1)を含む

6尾が釣れて、その脅威を体感しました。2日目は北浦沖での水質・プランクトン・底生動物調査(写真2)、室内での活性汚泥を使った水質浄化実験でした。3日目は湖底堆積物の分析から環境の変遷について学びました。4日目は岸近くでの魚類調査(写真3、4)で、外來種や在來種を含む魚類・甲殻類13種の生息を確認してから、外來魚と在來魚の食う・食われるの関係を調べました。最終日の成果発表会では、霞ヶ浦・北浦の環境・生態系の保全や利用についての議論が大いに盛り上がりました。

大学生たちが湖とその周辺の自然の魅力に触れるよい機会となりました。ご協力いただいた地域の皆様に感謝申し上げます。

茨城大学地球・地域環境共創機構
水圏環境フィールドステーション

加納光樹・金子誠也